

◇ 行事報告 ◇

1月18日（火）跋魂祭・摩利支天月例祭

令和4年最初のお祭りです。

新型コロナ・オミクロン株の蔓延を受けて僧侶のみで、古い塔婆や、お位牌、正月飾り、御札等の魂抜きの式典を行い、その後、摩利支天堂にて摩利支天月例祭を執行しました。

跋魂祭では一年間、お守り頂いた御札や先祖へのお塔婆に感謝し、草木金石の素地に還って頂く跋魂の修法を行いました。



2月4日（金）星祭り

檀信徒各位の年中安全、諸難退散を祈願させて頂きました。オミクロン株の蔓延に配慮し、2月2日に予め僧侶のみでお香通しを行いました。当日は、修法を行い、一体一体読み上げを行いました。

節分といえば、鬼です。鬼の漢読みは「キ」といいます。原義は「死者の魂」です。例えば、餓えた死者の魂を「餓鬼」、死者の魂が泣き喚くことを「鬼哭」といいます。現代日本語の「オニ」も、「鬼」の原義である「死者の魂」として用いられる例もあり、海外で死ぬことを「異国の鬼となる」「異境の鬼となる」と表現し、日本でも亡くなる事を「鬼籍に入る」とも言われます。



また鬼は人を幸せにする役目もあります。鬼は「かみ」とも読まれます。得体の知れないものを恐れれば「おに」となり畏怖すれば「かみ」となります。鬼が出入りすると言われる「鬼門」は北東とされています。昔の方角では、子（ね）を北として十二支の名前が時計回りに当てられていたため、北東は丑寅（うしとら）の方角となります。この丑寅は良宮と言われ、陰の気が滅し、陽の気が生まれる場所でもあります。つまり陰の「おに」と陽

の「かみ」が同時に存在する場所ですね。

今年は「壬寅」 新たな動きが始まる年です。「壬（みずのえ）」は五行では「水」、イメージは大きな川・海です。「寅」は「木」に通じ、大きな木をイメージします。また、九星では本年は、五黄土星で「土」です。大きな川や海のほとりに広大な土があり、大木が立っている、まさに雄大で大きく発展するイメージがあります。

今年もコロナという大きな流れに振り回されそうですが、その中であって、地にしっかりと根を張って大木が立っているように、基本を忠実に、周りに迷わされないように過ごすことが大切になります。心に止めてお過ごし頂けると幸いです。

◇ 本了院霊園に永代供養墓が完成しました ◇

昨今、墓じまいや家の継承者がいないなどの理由から、永代にお骨を預かって欲しい旨の相談が多くなってきております。

この状況を受けて霊園の入り口に「永代供養墓」を建立し、2月2日（水）に開眼いたしました。 詳細はお寺へお尋ね下さい。



◇ 行事案内 ◇

摩利支天月例祭

※3月19日（土）4月19日（火） 午前10時より執行いたします。

本年の3月と4月は日にちが変更になりますので、宜しくお願いします。

多くの摩利支天様がお座り頂いた御宝前にて各家の家内安全、身体健全を祈願し、お加持を受けます。コロナ対策を取りながら執行していますので、皆様のご参加をお待ちしております。

なお、お供えは、摩利支天様一体千円以上、お賽銭百円以上を申し受けます。

グランドゴルフ大会

本年の「庭瀬組寺主催のグランドゴルフ大会」は4月18日（月）に開催される予定です。「岡山県宗務所主催のグランドゴルフ大会」の開催は、新型コロナウイルスの影響で開催の有無を検討中です。詳細が決まり次第連絡させていただきますので、お待ち下さい。

◎ 護持会費のお願い ◎

3月18日以降にお世話人のおられる方は、お世話人がお伺いいたします。

その他の檀家の方には、振込用紙をお送りさせていただきますので、納入の程、よろしく
合 掌